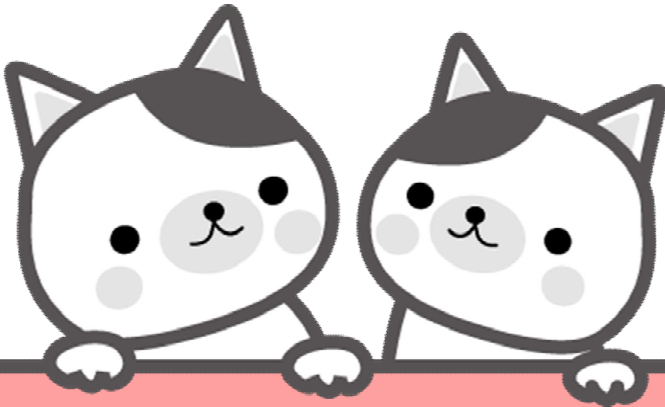


赤ちゃんとお楽しむ絵本

お酒は20歳になってから、
絵本は2歳になるまえから。



本についてのご相談は図書館まで

酒々井町立図書館 043 - 496 - 8682

★絵本を読んでみませんか★

お子さんと一緒に絵本の世界をのぞいてみませんか？

お父さん、お母さんが読んでくれた絵本は、子どもたちの中に一生残る思い出になります。

お子さんと本と一緒に絵本をめくることが、かけがえのない絆を育んでくれます。

お父さん、お母さんの声で、どうぞ絵本を読んであげて下さい。身近な人の声が一番お子さんに届きます。お父さん、お母さんから聞いた言葉が、お子さんの言葉の力を養います。絵本の読み聞かせは心と知識の贈り物です。

★読むときのポイント★

○スキンシップをしながら

読み手と触れ合うことで、お子さんは安心して絵本を楽しむことができます。暖かくて楽しいひとときにしてあげて下さい。

○ゆっくり絵を見せよう

絵本は絵が主役です。絵をじっくり見せてあげて下さい。

○満足するまで何度でも

本人が満足するまで同じ本を読んであげて下さい。

○気負わない

ゆったりとしたひとときをお子さんと楽しんで下さい。

『いないいないばあ』

瀬川康男／絵 松谷みよ子／文 童心社



よんだ日

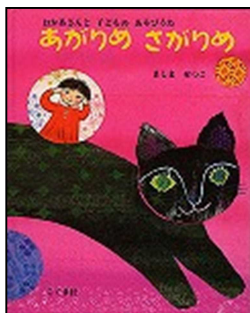


動物たちといっしょに「いないいないばあ」あそびを楽しめる絵本。「のんちゃん」はお子さんの名前に変えて読んであげては？



『あがりめ さがりめ』 『あんたがたどこさ』

ましませつこ／絵 こぐま社



よんだ日



赤ちゃんから楽しめるわらべうた絵本。特に小さい子が楽しめるあそびがたくさん載っているのがこの2冊。『あんたがたどこさ』には楽譜もついています。

『ごぶごぶごぼごぼ』

駒形克己／作 福音館書店



よんだ日



大きな丸や小さな丸がカラフルな色使いで描かれています。ページに穴があいていたり、不思議な音の言葉がついていたり、触って、眺めて、聞いて楽しめる絵本。



『どうぶつのおやこ』

藪内正幸／絵 福音館書店



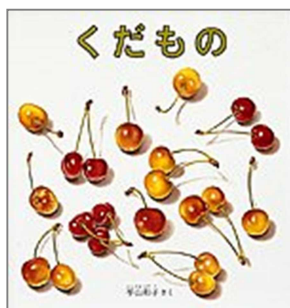
よんだ日



犬やさるなど、おなじみの動物の親子が本物そっくりに描かれています。親子のつながりが感じられるような絵です。言葉がないので、自由に読んで眺めて楽しんでください。

『くだもの』

平山和子／文・絵 福音館書店



よんだ日

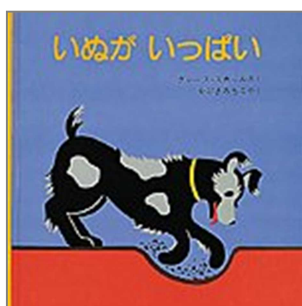


写実的に描かれた、すいか、もも、ぶどうなどの果物。皮をむいてはお皿に入れて、「さあどうぞ」と差し出します。子どもは思わず絵に手をのばします。



『いぬがいっぱい』

グレース・スカル／作 福音館書店



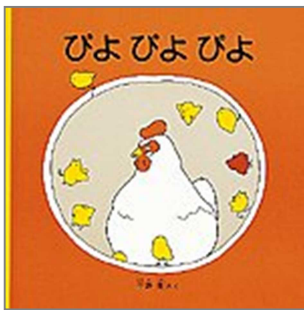
よんだ日



おりこうないぬ、いたずらないぬ、げんきないぬなど、わかりやすい絵と言葉で描かれた犬の絵本。同じ作者で「ねこがいっぱい」があります。

『ぴよぴよぴよ』

平野剛／作 福音館書店



よんだ日



ひよこがぴよぴよぴよ、とやってきます。そのうしろから子猫がついてきました。それを見つけた親鳥が「こっこっこ」と追い払います。親鳥のたのもしいこと！



『ぶーぶーじどうしゃ』

山本忠敬／作 福音館書店



よんだ日



たくさんのじどうしゃを写実的に描いています。言葉がないので、図鑑のように眺めて楽しむこともできる絵本です。

『がたんごとんがたんごとん』

安西水丸／作 福音館書店



よんだ日

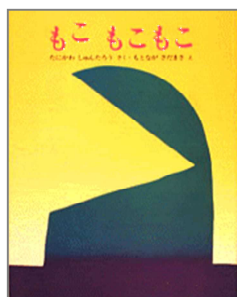


汽車が、がたんごとんがたんごとんとやってきました。ほにゅうびん、コップ、スプーン、りんご、バナナ、子どもの好きなもの・身近なものに乗せて、終点まで運びます。繰り返しの言葉と、駅ごとに増える乗客が子どもの心をわくわくさせます。



『もこもこもこ』

元永定正／絵 文研出版



よんだ日



「もこ」や「によきによき」という不思議な言葉のリズムと、それにふさわしい絵が子どもの純粋な感覚を刺激する絵本。赤ちゃんから小学生まで、幅広く楽しめます。

『おててがでたよ』

林明子／作 福音館書店



よんだ日



洋服を着るといふ身近なテーマを絵本にしました。赤ちゃんの豊かな表情としぐさを丁寧に描いた絵本。シリーズに『おつきさまこんばんは』『きゅっきゅっきゅっ』『くつつくつあるけ』があります。



『おにぎり』

平山和子／絵 福音館書店



よんだ日



おにぎりを作る様子を丁寧に写実的な絵で描いています。つやつやしたお米があつあつでおいしそう。おにぎりが食べたくになりますよ。

『りんご』

鎌田暢子／絵 松野正子／文 童心社



よんだ日



あかいらんご、きいろいらんご、ピンクのりんご。皮をむいて、切って、いただきます。



『おやすみなさいのほん』

ジャン・シャロー／絵 福音館書店



よんだ日



夜になると、あたりは暗くなり、みんな眠ります。「ねむたいとりたち」「ねむたいこどもたち」と眠りにつくものたちに優しく語りかけます。詩のようなリズムのあることばと柔らかい絵が、子どもたちを眠りに誘います。

『ちいさなうさこちゃん』

ディック・ブルーナ／作 福音館書店



よんだ日



ふわふわさんとふわ奥さんに赤ちゃんが生まれました。名前がうさこちゃんです。短いストーリーのある絵本です。物語を楽しめるようになってきた子たちにおすすめです。



『くまさんくまさんなにみてるの?』

エリック＝カール／絵 偕成社



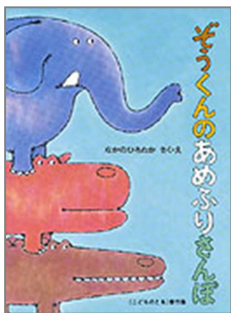
よんだ日



ちやいろいろくまさんに「なにみてるの?」と聞くと、「赤い鳥をみているの」。赤い鳥は黄色いあひるを…とつぎつぎ問いかけが繋がっていきます。リズムカルな繰り返し言葉と明るい色彩の大判絵本。

『ぞうくんのあめふりさんぽ』

なかのひろたか / 作 福音館書店



よんだ日



ぞうくんが散歩に出かけます。雨でもぞうくんはごきげん。かばくんとさそって背中に乗せて、わにくん、かめくんを乗せて…。ぞうくんはみんなと池に落ちてしまいますが、みんなごきげん。



『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやまけん こぐま社



よんだ日



しろくまちゃんがホットケーキを作ります。フライパンの中でホットケーキがおいしそうなお音をたてています。こぐまちゃんといっしょにいただきます。

★保護者の方におすすめの本★

『赤ちゃんの本棚』

ドロシー・バトラー／著 のら書店



子育てで大事な乳幼児期におすすめの絵本のブックガイド。絵本を紹介しながら、親と子の絆を結ぶ絵本の效用と、本に寄せる信頼を熱く語ります。



『にほんのわらべうた』①～④

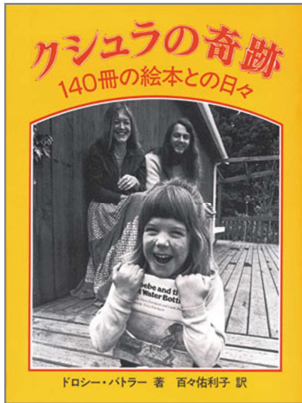
近藤信子／著 福音館書店



「わらべうた」って歌ったことがない、遊んだことがないという方、やり方を忘れてしまったという方へ、歌詞も遊び方も載っている本。4巻にはCDもついています。

『クシュラの奇跡』

ドロシー・バトラー／著 のら書店



『赤ちゃんの本棚』の著者が、自分の孫娘クシュラの絵本との生活を書いています。クシュラが親しんだ絵本のリストつき。

『えほんのせかいこどものせかい』

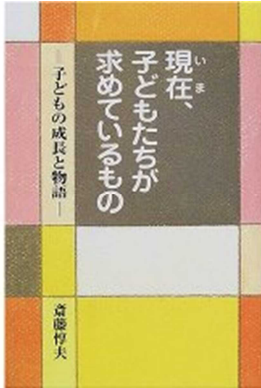
松岡享子／著 日本エディタースクール出版部



大人が子どもを本の世界にいざなうには、どんな心構えで本と子どもに接したらいいかを教えてください。

『現在、子どもたちが求めているもの』

斎藤惇夫／著 キッズメイト



福音館書店の編集者として、また作家として長年子どもたちを見つめ続けてきた著者が、「子どもの成長と物語」について大人が果たすべき役割を語ります。



『読む力は生きる力』

脇明子／著 岩波書店



長年大学で教え、子どもの本の翻訳もしてきた著者が、「子どもが本を読むことの大切さ」をテーマに、たどり着いた成果を講演のようなやわらかい語り口で説いています。



ここに掲載されている本は、全て図書館にあります。
年齢制限なく、どなたでも本を借りることができますので、ぜひご利用ください。



読書通帳はお持ちですか？

借りた本のタイトルを記録できる読書通帳を無料で配布しています。ご希望の方は職員までお声かけください。

